

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 アブソリューション・スピード	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.470	△RG 0.011	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：アブソリューション・スピード

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：アブソリューション・フレックス

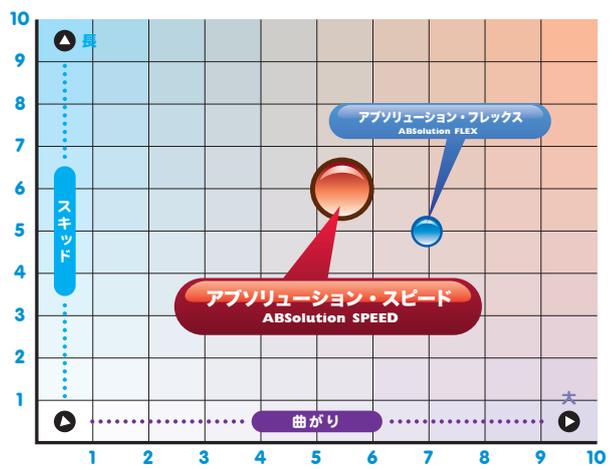
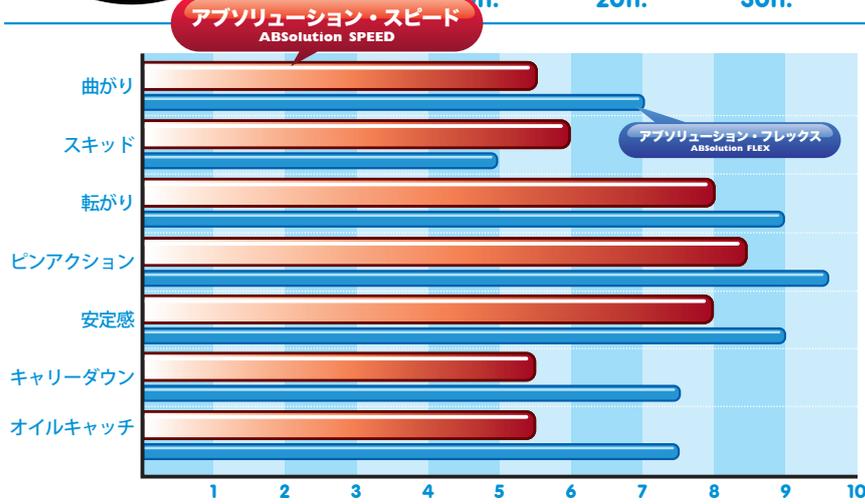
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **5** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション	バックエンドリアクション	レンダス
Light Oil	Smooth	Early Roll
Light to Medium	Smooth to Arc	Early to Med
Medium Oil	Arc	Med-Lane
Medium to Heavy	Arc to Sharp	Med to Late
Heavy Oil	Sharp Angle	Late Roll

ボールの評価

ここ最近のABSolutionシリーズはラシットからフレックスで国産の上質なりアクティブに拘り、どちらかというとパフォーマンスを重視した作りであり、走りに特化した性能ではありませんでした。今回新しいABSolution発売の経緯は、多くのユーザーからABSブランドの中でも大会の最終シフト等で使用できる、ブレイクダウンにもディープなインサイドのラインにも対応可能なボールの作成。常日頃からABSを支えてくださる皆さんのリクエストに応えるものでもあります。

今回のABSolution SPEEDには特に拘った部分があります。それは走り系に現れてしまうピンアクションの硬さの軽減と特殊な可塑剤を含んだパルテル系カバーとの融合です。

コアテクノロジーはほぼ今までの取り組み通りにRGを上げて△RGを下げ、フレアを最小限に抑えました。そしてピンアクションを担う国産独自の衝撃吸収コアシステムに加え、新たに特殊な可塑剤を添加させることでさらに衝撃吸収をさせる、衝撃吸収システムをカバーストックとコア双方で行う次世代の衝撃吸収システムと言えます。

実際に投球してみると、前回走り系でリリースしたABSolution BULLETとほぼ曲がりは変わらないのですが、ピンの飛び方が明らかに良くなったと言えます。やや薄めの絡むアクションも多くなりましたし、良く見かける淡白なタップも少なくなりました。このボールが性能を最大に発揮するのは、手前のオイルが削られたブレイクダウンでも直進力を稼げることで、ボールがピン手前で折れて曲ってしまう状況を遅らせることができることです。その状況でも10本のピンアクションを実現させる。それが新しいABSolution SPEEDです。

特記事項

走り系の泣き所であった硬めのピンアクションを打破するために2種類の衝撃吸収システムを搭載しました。後半最後の砦でウレタンや走り系のボールを探していた方は、このABSolution SPEEDで決まりです。